

研究所図書室だより 2017年12月

発行：浦添市立教育研究所 TEL:098-876-7522 FAX:098-876-7222 MAIL:uraken5@urasoe.ed.jp(図書室)

光陰矢のごとし・・・「師走」！

2017年も残すところあと1ヶ月となりました。11月下旬ごろから、北海道や東北などでは、連日寒波と大雪のニュースが伝えられ本格的な冬の到来です。

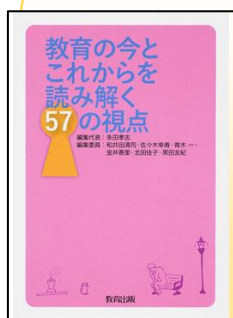
南国沖縄でも一雨ごとに風が冷たく感じられ、ようやく冬らしくなってきました。街や通りは色鮮やかなイルミネーションが輝き、歳の瀬の恒例行事やクリスマス、冬休み、新年に向けて一段と活気づき賑わいをみせています。

運動会や合唱コンクール、学習発表会など多くの学校行事で多忙を極めた2学期。終業式まであとひとふん張りです。

先生方は2学期のまとめや3学期に向けた準備など息つく暇もない、まさに「師走」ですが、心と体の健康管理、仕事とプライベートのバランスに留意し、無理せずやっていきましょう。



今月のおすすめ本



『教育の今とこれからを読み解く57の視点』

多田 孝志 編集代表 (教育出版)

学校教育をめぐる大きな変化に適切に対応した教育実践を推進するため、学校、子ども・若者、教育改革・学校教育改革、カリキュラム、教授と学習の方法等57の視点から現在と未来を読み解く。

(教育出版 本書紹介文より)

『わかる「板書」伝わる「話し方」』

栗田 正行 著 (東洋館出版社)

本書は「先生のためのビジネス書」として生まれました。著者が独自に編み出した「板書」で大切な「CHALK(チョーク)の法則」や、わかりやすい「話し方」のエッセンスを図書館のお話会やセミナー講師などから、より実践的にまとめています。子どもたちの心をつかむ授業を行うための1冊。(東洋館出版社 本書紹介文)

わかる「板書」 伝わる「話し方」

栗田正行

月刊誌(12月号) ピックアップ

定期購読雑誌3タイトルの特集記事についてご紹介します。
※最新号以外のバックナンバーは貸出ししています。どうぞご利用下さい。



『教育科学/数学教育』(明治図書)

特集：永久保存版
必ずうまくいく全単元の導入ネタ大集合

【連載】徹底解説
新領域「データの活用」の授業づくり(1年/確率の授業づくり)ほか



『教育科学/国語教育』(明治図書)

特集：「交流」を通して「共有」の能力を育む対話的な学びを促す国語科の話合い・グループ学習
小特集：話し合い・グループ学習を支える授業のアイズブレイク



『月刊学校教育相談』(ほんの森出版)

特集1：受験の不安に押しつぶされそうなお子
特集2：グループワークの安全性を高めるために
【連載】実践入門！学校における認知行動療法
【連載】中学生との対話 ほか

新着図書

たくさんの新刊書が入りました。話題の新刊本をご紹介します。お問い合わせは図書室へ。



○『子どもを幸せにする「道徳科」授業別「評価記入ナビゲーション」付き！』

赤堀 博行 佐藤 幸司 著 (小学館、2017)

○『こうすれば考える力がつく！中学校 思考ツール』

田村 学 黒上 晴夫 著 (小学館、2014)

○『家庭や学級で語り合う スマホ時代のリスクとスキルースマホの先の不幸をブロックするー』

竹内 和雄 著 (北大路書房、2014)

☆『新教育課程ライブラリⅡ』(編集・発行 ぎょうせい)

■各巻特集テーマ

Vol.6 「新学習指導要領で学校の日常が変わる」(6月号)

Vol.7 「すべての子どもを生かす特別支援教育」(7月号)

Vol.8 「実践・これからの道徳と外国語教育」(8月号)

Vol.9 「移行措置期の学校づくりを考える」(9月号)

Vol.10 「子どもの成長をつなぐ保幼小連携」(10月号)

Vol.11 誌上セミナー「新しい学びを起す授業」(11月号)